

町が一体となって空き家対策を

これから行われる空き家対策の説明を受けた。

空き家の実態を調査し、対策計画をつくる

◆8月から9月に自主

防災組織に委託し、3年ぶりの実態調査を行う。また、「白鷹町空き家等対策協議会」を設置し、空き家対策を計画的に実施するための「白鷹町空き家等対策計画」を策定する。

質疑

調査方法と相談窓口は

委員 調査に当局は同行するか。調査表の内容はどのようなものか。

当局 職員は同行しない。危険空き家に関し

ては、後日職員が再調査する。また調査表はできるだけ簡素化する。

委員 将来空き家は増加する。協議会が相談窓口の機能を持ってないか。

当局 相談は当局の担当者が受ける。

特定空き家の認定は

委員 特定空き家認定のスケジュールは。また、だれが認定するのか。

当局 所有者確認など、資料を集めながら進める。

認定は町職員が行うのではなく、建築士が専門的に確認のうえ対策協議会で認定する。



町と白鷹福祉会が一体となり進める

旧西中跡地の利活用

◆旧西中学校跡地を利活用し白光園の移転新築に向けた計画が進んでいる。現在は設計業者が決まった段階。

質疑

広大な敷地の利活用は

委員 建物の面積は。また、グラウンドの利用は。

当局 建物は7千㎡と聞いている。グラウンドは避難場所としての利用や除雪などを考慮して検討中である。町の関係部署が入っ

白光園開所は31年秋頃 木造平屋で

特別養護老人ホーム白光園移転新築についての説明を受けた。



新築に向けて

たプロジェクトチームを作って、白鷹福祉会と一体となり調整する。

解体撤去は

委員 旧西中の建物解体撤去は町が行うのか、白鷹福祉会が行うのか。

当局 一番の課題である。

現在、財源を含め検討している。

その他

○平成29年度白鷹町重要事業要望

○公立保育所運営検討委員会の検討報告

○幼保連携型認定こども園の状況
などについて説明があった。